

OfByForコラム 地域の 地域による 地域のための Something NEWS

第36回

久しぶりの北京・天津の訪問記(中)

一般社団法人 光楓座
一般社団法人 e f c o . j p
代表理事 佐藤建吉

前回(上)より続く

▼植物工場への関心

気候変動や異常気象、LEDの普及、3・11による原発事故、農家の高齢化、安全安心、健康衛生。これらは「植物工場」への関心や普及を拡大する動機づけとなっている。東京ビッグサイトをはじめとする展示場では、植物工場の展示会が恒例行事として行われ、LEDによる人工照明、水耕栽培、土壌栽培などのシステムは大盛況である。

長らく同センターを訪問した。ここでは、「NP O植物工場研究会」があり、古在会長、山口理事長と面談した。古在会長は、千葉大学元学長で、以前からお世話になって

いる。そのエントランスに、施設全体について紹介する展示室がある。展示のブースでは、LEDの人工照明の栽培棚があり、植物工場を演出している。

本施設では、①工業化農業、②都市農業、③市中農業の三つを目標としている。農業は、食料不足や環境悪化など、中国が解決すべき問題解決には、革新と挑戦が要件であるが、それにチャレンジするモデルのセンターがあるが、北京アグリガーデンが位置付けられている。これは、筆者には目新しく、感動的ではなかった。この環境デザインは、古在学長の下に留学した方が、デザインしたとの案内の刘静さんの話であった。

千葉真柏市、つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」前には千葉大学の園芸学部・大学院が母体となる「健康フィードセンター」がある。

山口理事長との話で「北京アグリガーデン」の存在を知った。丁度、5月末には北京に出かけるので、訪ねて来たい旨を伝えた。

「北京アグリガーデン」の存在を知った。丁度、5月末には北京に出かけるので、訪ねて来たい旨を伝えた。

「北京アグリガーデン」の存在を知った。丁度、5月末には北京に出かけるので、訪ねて来たい旨を伝えた。

5月中旬、筆者が顧問をしている農産会社の社長が、前号の本コラム(上)に述べた李君の友人が、国家機関の要人の子弟であるとのこと

で、特別に見学することが出来た。当日も、この施設には国家のVIPの車列があった。

北京アグリガーデンは、2002年に設置され、15年の歴史を有して

北京アグリガーデンは、2002年に設置され、15年の歴史を有して

「北京アグリガーデン」の施設は、一般には公開していないそうである

が、前号の本コラム(上)に述べた李君の友人が、国家機関の要人の子弟であるとのこと

で、特別に見学することが出来た。

当日も、この施設には国家のVIPの車列があった。

「北京アグリガーデン」の施設は、一般には公開していないそうである

が、前号の本コラム(上)に述べた李君の友人が、国家機関の要人の子弟であるとのこと

で、特別に見学することが出来た。

当日も、この施設には国家のVIPの車列があった。

「北京アグリガーデン」の施設は、一般には公開していないそうである

が、前号の本コラム(上)に述べた李君の友人が、国家機関の要人の子弟であるとのこと

で、特別に見学することが出来た。

当日も、この施設には国家のVIPの車列があった。

「北京アグリガーデン」の施設は、一般には公開していないそうである

が、前号の本コラム(上)に述べた李君の友人が、国家機関の要人の子弟であるとのこと

で、特別に見学することが出来た。

当日も、この施設には国家のVIPの車列があった。

「北京アグリガーデン」の施設は、一般には公開していないそうである

が、前号の本コラム(上)に述べた李君の友人が、国家機関の要人の子弟であるとのこと

で、特別に見学することが出来た。

当日も、この施設には国家のVIPの車列があった。

「北京アグリガーデン」の施設は、一般には公開していないそうである

が、前号の本コラム(上)に述べた李君の友人が、国家機関の要人の子弟であるとのこと

で、特別に見学することが出来た。

当日も、この施設には国家のVIPの車列があった。

「北京アグリガーデン」の施設は、一般には公開していないそうである

が、前号の本コラム(上)に述べた李君の友人が、国家機関の要人の子弟であるとのこと

で、特別に見学することが出来た。

当日も、この施設には国家のVIPの車列があった。

「北京アグリガーデン」の施設は、一般には公開していないそうである

が、前号の本コラム(上)に述べた李君の友人が、国家機関の要人の子弟であるとのこと

で、特別に見学することが出来た。

当日も、この施設には国家のVIPの車列があった。

「北京アグリガーデン」の施設は、一般には公開していないそうである

が、前号の本コラム(上)に述べた李君の友人が、国家機関の要人の子弟であるとのこと

で、特別に見学することが出来た。

当日も、この施設には国家のVIPの車列があった。



写真1: 会議テーブルにもグリーン



写真2: ステージではイベントも開催

須のものである。

▼アップリス

中国の取り組みは、前述した①、②、③を目標としているが、次の背景が隠されている。皆で快適な農業を創造する”である。それは、「アグリ」

「アグリ」"という合言葉で表される。具体的には、「アグリ+ショッピングモール」"アグリ+エデュケーション"「アグリ+カーニバル」などである。

都市の人々に、楽しい空間としての農園(農苑)を提供し、自然への親しみを創発することを目的としている。これは、日本でもターゲットとしてチャレンジしたいものである。

「次回(下)に続く」

連載・イベント・下水汚泥バイオマス